

基本構想

第1章 まちの将来像

吹田市が目指すまちの将来像は、吹田市の特徴、社会潮流、まちづくりの主要課題を整理し、それらを踏まえた目指すべきまちの姿として掲げます。

都市魅力を発信し、人を惹き付けるまち

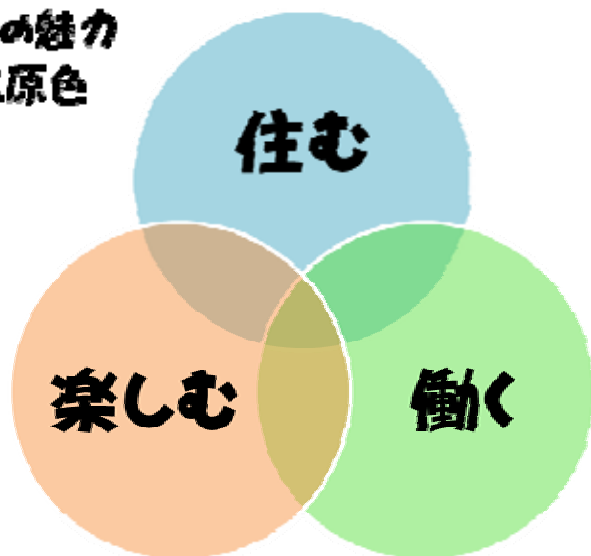
都市魅力とは、なにを魅力としているのか 最初の3行を凝縮した言葉

本市は、「産業のまち」「住宅のまち」「楽しめる都市空間」をバランスよく内包する都市です。それぞれの都市機能は高い集積があり、単独でも大きな都市魅力となっていますが、複数の都市機能が近接、融合することで、職住近接、職遊融合、住遊手近など相乗的に魅力が高まる可能性があります。

この可能性を引き出すには、柔軟な「発想力」や豊かな「創造力」、粘り強く取り組む「推進力」などが必要であり、これらはどれも、人を介して引き出すことができるものです。

このため、市民、企業、NPO、大学、行政など様々なまちづくりの主体が、相互の関係性を深め、それぞれの得意分野を生かしながら、協力、連携することにより、地域資源をうまくつなぎあわせながら、新たな都市魅力の創造を図ります。さらに、この都市魅力を内外に発信し、人を惹き付ける元気のあるまちをめざします。

まちの魅力 三原色



個々の魅力を高め 相乗効果を促進するために

市民主体の
コミュニティ
運営が確立
されたまち

まちの未来
を拓く人を
育むまち

市民主体のコミュニティ（地区）運営が確立されたまち

本市は、地方自治体への分権が進む地域主権という変革期の政策主体として、市民生活を豊かにする政策の質的向上を図ることが求められています。このため、市民が日々の生活で感じたことを、如何に政策に組み入れていくかが重要となっています。

特に、本市の特徴である市域内の各地区の固有の特色を市の魅力向上に結びつけるためには、地区の実情に応じたきめ細かなまちづくりを進めることが重要です。このため、市民が、地区のまちづくりに主体的に関わり、自ら考え行動する、自律した地区運営ができる仕組みを市民と行政の協働で構築し、その運営を市が応援することで、それぞれの地区魅力を高め、活気あふれる地区とすることをめざします。

まちの未来を拓く人を育むまち

価値観が多様化かつ複雑化する成熟社会において、将来にわたって活力あるまちとして持続し発展させるためには、**創意工夫により新たな価値を創り出す力が求められ、未来の吹田を牽引する人材を育むことが重要**となります。

人と人が関わり、育ち育てられる環境づくりとして、「安心して、子どもを生き育てる環境」、「子どもが自立するまでの成長を応援する環境」、「社会とつながり自己実現ができる環境」など生涯をとおして学び・育む環境が備わったまちをめざします。

以上の3つのまちづくりの視点に共通するものは、人が主体的に行動し、知識や知恵を紡ぎ、創造することの重要性です。つまり、「市民力」が源となり、関係性を育み、「地域力」として成長し、これが未来のまちづくりの原動力となります。

こうした力を生みだし蓄積するには、「人」にスポットを当て、「人と人との関わり」「多世代交流」など個性や違いを認め合う「思いやり」と「やさしさ」による関係が育つ環境づくりが必要です。

以上より、本市の将来像を
将来像イメージ（案）

笑顔あふれる未来を創る都市 吹田

人との交流を大切にした、元気あふれる自律都市 吹田

未来を育む夢工房 人・まち・元気創造都市 吹田

次代へ元気をつなぐ 開かれた交流都市 吹田

とします。